
CloudyⅢ (V4) ラックマウント NAS サーバ
Baseboard Management Controller (BMC)
ユーザーズマニュアル

第 1.0 版
2020/08/03



変更履歴

版数	日付	内容
1.0	2020/08/03	初版作成



はじめに

本書に含まれる内容は予告なく変更される場合があります。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品の適合性、暗黙の保証、運用における損害、及び、本書の使用に関連した損害について責任を負いかねます。また、本製品は、日本国外、軍事目的、原子力設備で使用されないことを前提としております。

株式会社ニューテックは、本書に記載された製品へ記録されたデータについて、その消失・誤記録における責任を負いかねます。

(データのバックアップは、システム管理者の責任において実施が必要です。)

本書は、著作権によって保護された情報を含んでおり、本書のいかなる部分も、株式会社ニューテックの書面による許可の無いまま、コピー、再版、他言語への翻訳を行ってはいけません。

株式会社ニューテック

〒105-0013

東京都港区浜松町 2 丁目 7-19 KDX 浜松町ビル

<http://www.newtech.co.jp>

Copyright© 2020, Newtech Co., Ltd. All rights reserved.

本書利用者の前提条件

本書は、コンピュータ装置の運用管理技術を有し、本書に記載された製品を利用するための、コンピュータ OS(基本ソフト)のインストール及びシステム変更の知識、及び、安全な運用や発生する問題を解決できる人を前提としています。

安全にお使いいただくために

本製品を安全にお使いいただき、ケガや機器の障害を未然に防止するために、以下の注意事項を良くお読み下さい。

表示の意味



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重症を負う危険が切迫して生じる場合が想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が死亡、または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。



この記号は、注意（警告を含む）をうながす内容があることを示します。具体的な注意喚起内容をこの記号の中や近くに絵や文章で示します。



この記号は、禁止（してはいけないこと）の行為であることを示します。具体的な禁止内容をこの記号の中や近くに絵や文章で示します。



この記号は、強制（必ずすること）の行為であることを示します。具体的な強制内容をこの記号の中や近くに絵や文章で示します。

警告



禁止

本製品の分解、改造、修理をお客様ご自身で行わないで下さい。
本製品や火災や感電、故障の原因となります。



電源プラグを
コンセントから抜く

本製品やコンピュータ本体から煙が出たり異臭がした場合は、直ちに電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて下さい。
すぐに販売店または弊社サポート窓口までご連絡下さい。
そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。



禁止

本製品の内部に水などの液体や異物を入れないで下さい。
万一入った時は、すぐに電源コードを抜いて販売店または弊社サポート窓口までご連絡下さい。



水筒での
使用禁止

本製品は水を使う場所や湿気の多い所で使用しないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。

注意



禁止

本製品の上に乗ったり、物を乗せたりしないで下さい。
機器が故障や、倒れてケガの原因になります。



本製品に添付又はオプションのケーブル、コネクタ以外はご使用にならないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグを触らないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。



禁止

電源プラグの端子にほこりや金属物が付着したままご使用にならないで下さい。
火災や感電、故障の原因となります。
万一付着している場合は、良く拭き取ってからご使用下さい。



アースを付ける

電源プラグはコンセントの奥まで確実に挿し、アースを取ってご使用下さい。
火災や感電、故障の原因となります。
※本製品ではアース付きの3端子タイプの電源プラグを使用していますが、一時的にアース線付きの3端子-2端子変換アダプタを使用する場合も必ずアース線を接続してご使用下さい。



リチウム電池の取り扱いについては、次のことを必ず守って下さい。
本装置の内蔵バッテリーには、リチウム電池が使われています。取り扱いを誤ると、発熱、破裂、発火などの危険があります。

- ・ 充電、電極除去、分解をしない
- ・ 加熱、焼却をしない。
- ・ 電池は水にぬらさない
- ・ 子供が飲み込んだりしないように、十分注意する
- ・ リチウム電池を廃棄する場合は、地方自治体の条例、または規制に従ってください。
- ・ バッテリーの極性（+、-）を正しく取り付けること。間違えると発熱、破裂、発火などの危険があります。

目次

はじめに.....	I
本書利用者の前提条件.....	I
安全にお使いいただくために	II
目次.....	IV
システムボードの管理.....	1
1. BMC: BASEBOARD MANAGEMENT CONTROLLER	1
1-1. BMC 接続準備	1
2. BMC の操作.....	4
2-1. ログイン	4
2-2. DATE AND TIME.....	5
2-3. CONSOLE REDIRECTION	5
2-4. キーボード設定	7
2-5. EVENT LOG.....	8
2-6. SENSOR READINGS	9
2-7. POWER CONTROL	10
2-8. ALERTS.....	10

システムボードの管理

1. BMC: Baseboard Management Controller

本製品は、システムボード上に OS とは独立してハードウェア障害を常時監視する管理用コントローラ (BMC) を搭載しています。背面の専用ポート (IPMI Dedicated LAN) に接続することにより使用することができます。

1-1. BMC 接続準備

キーボード、マウスを本体に接続しサーバを起動します。NTC ログ表示中に [DEL] キーを数回押し BIOS の設定メニューに入ります。

「IPMI」タブの中で「BMC network configuration」を選択します。



IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを設定します。

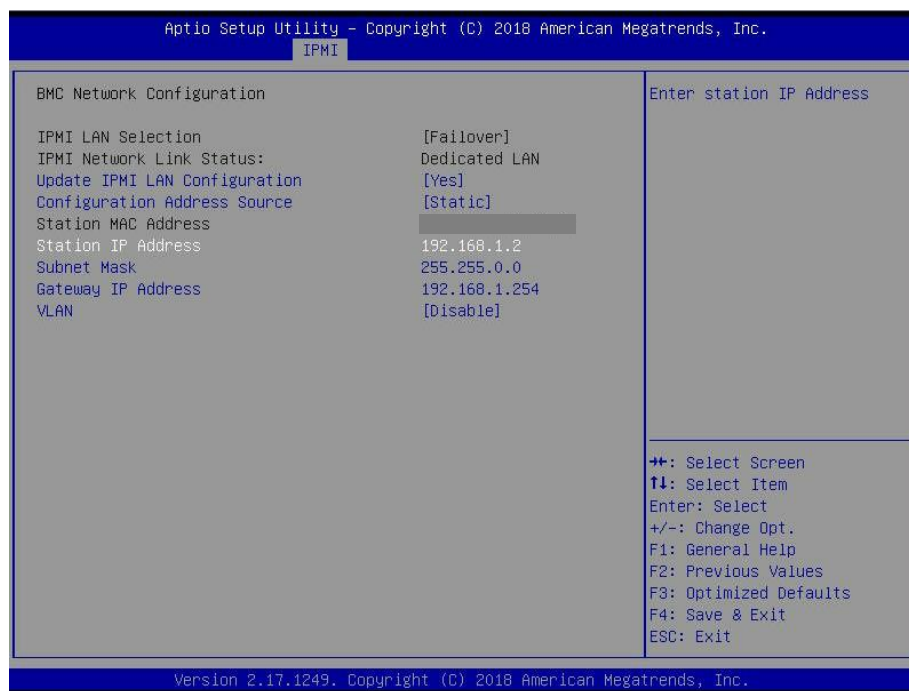
<初期設定>

- ・ IP アドレス : 192.168.1.2
- ・ サブネットマスク : 255.255.255.0
- ・ ゲートウェイ : 000.000.000.000

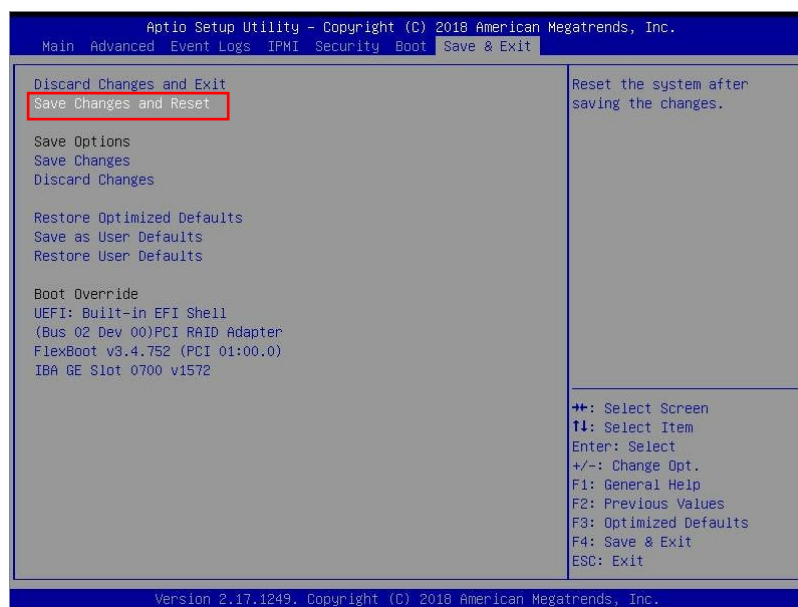
固定アドレスを設定する場合は、「Configuration Address source」を「static」に、DHCP を使用する場合は、「DHCP」を選択してください。

値を変更する場合は、設定されている値を [Backspace] で消してから変更してください。

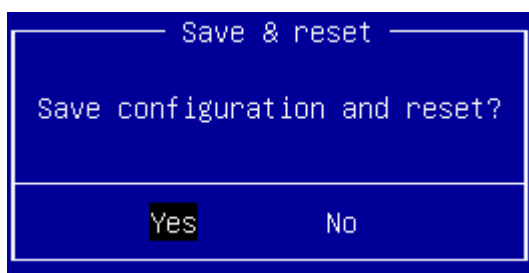
設定変更後は「Update IPMI LAN configuration」を“YES”に変更することで設定が反映されます。



「Save & Exit」タブで[Save Changes and Reset]を選択します。



以下のポップアップが出るので[Yes]を選択します。暫くするとサーバが再起動します。



2. BMC の操作

2-1. ログイン

サーバが立ち上がったら Web ブラウザから先ほど入力した IP アドレスを入力します。

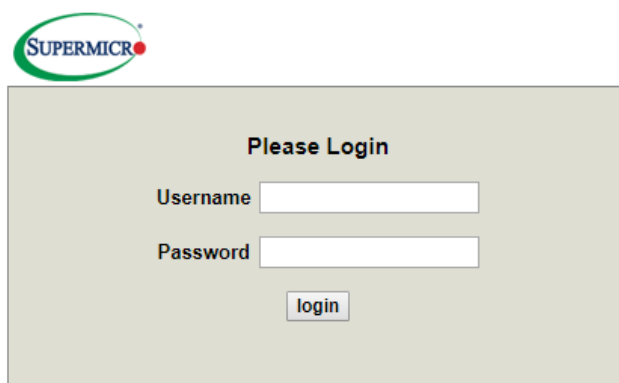
以下のログイン画面が表示されるので、Username と Password を入力します。

<初期設定>

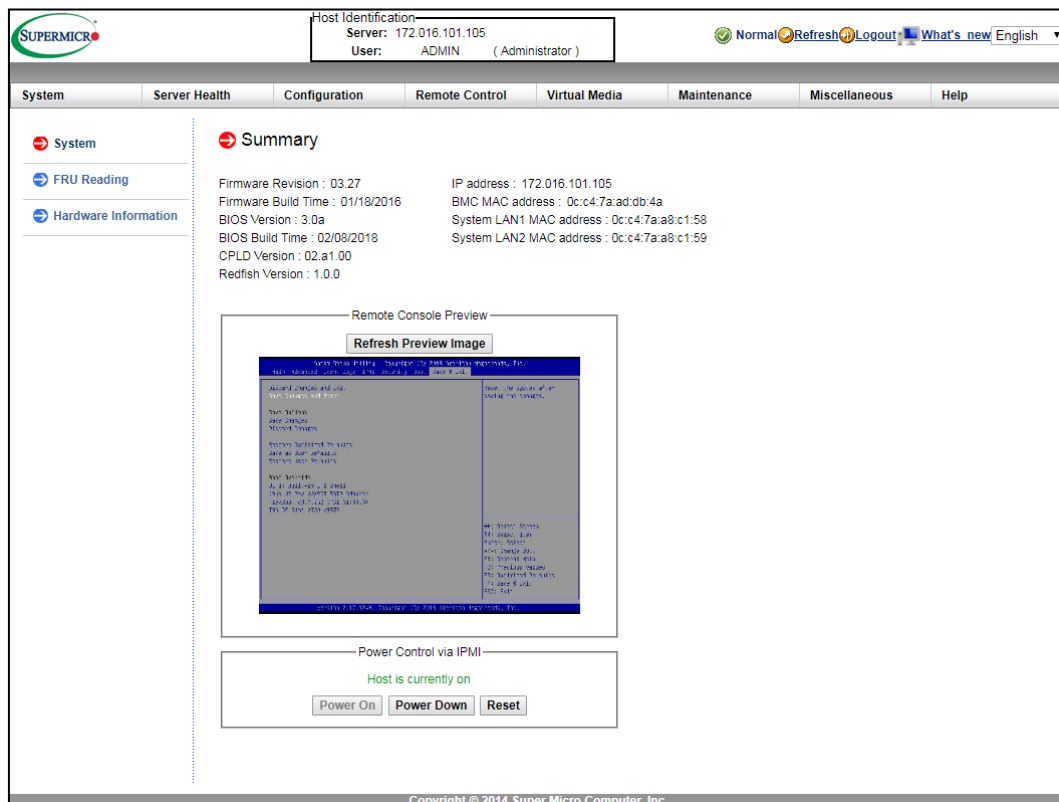
Username: ADMIN

Password: ADMIN (2020 年 1 月出荷分まで)

Password: ADMINntc1 (2020 年 2 月出荷分以降)

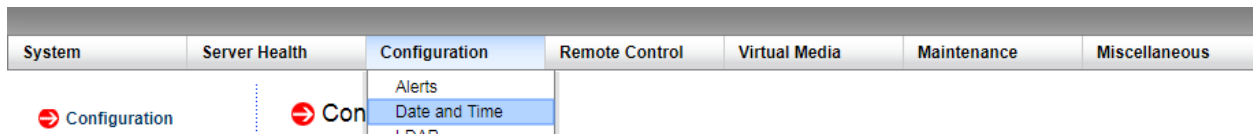


ログインすると以下のメニューが表示されます。

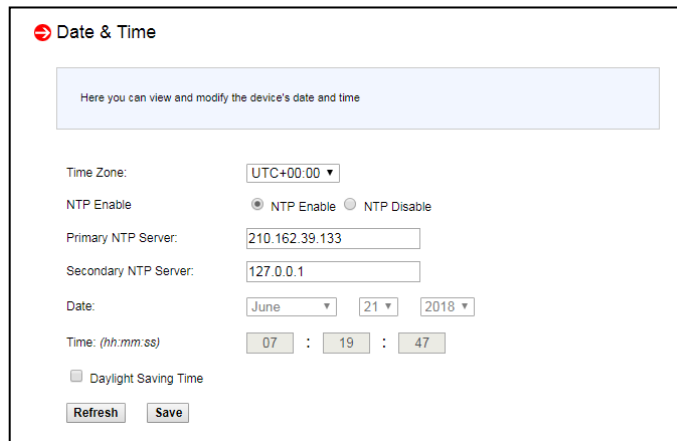


2-2. Date and Time

[Configuration]タブの「Data and Time」から時間を設定します。



NTP サーバを使用する場合は、Time Zone と NTP サーバの IP アドレスを設定し、[save]ボタンをクリックします。

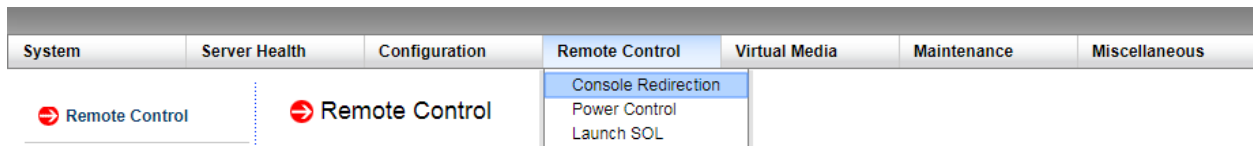


The 'Date & Time' configuration page contains the following fields and options:

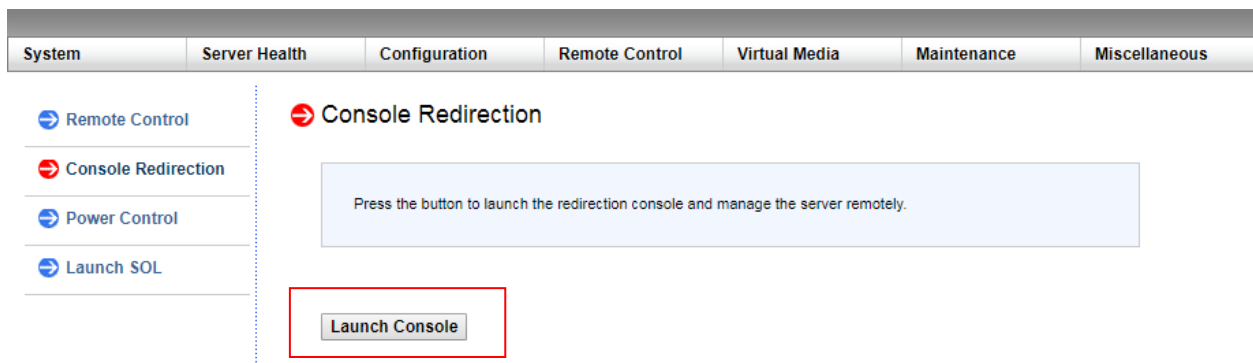
- Time Zone: UTC+00:00
- NTP Enable: NTP Enable NTP Disable
- Primary NTP Server: 210.162.39.133
- Secondary NTP Server: 127.0.0.1
- Date: June 21, 2018
- Time: (hh:mm:ss) 07 : 19 : 47
- Daylight Saving Time
- Buttons: Refresh, Save

2-3. Console Redirection

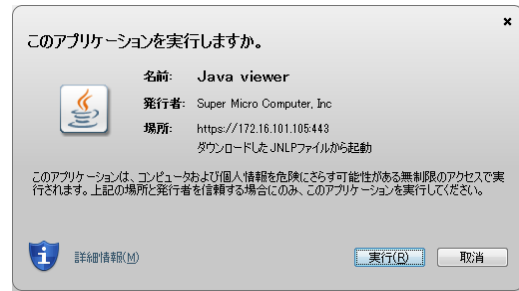
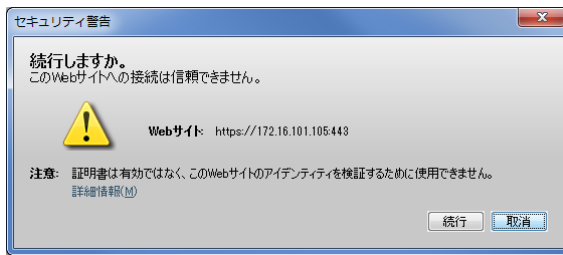
この操作では、リモートでサーバのコンソール画面を操作することができます。
[Remote Control]タブの「Console Redirection」をクリックします。



「Launch Console」をクリックします。

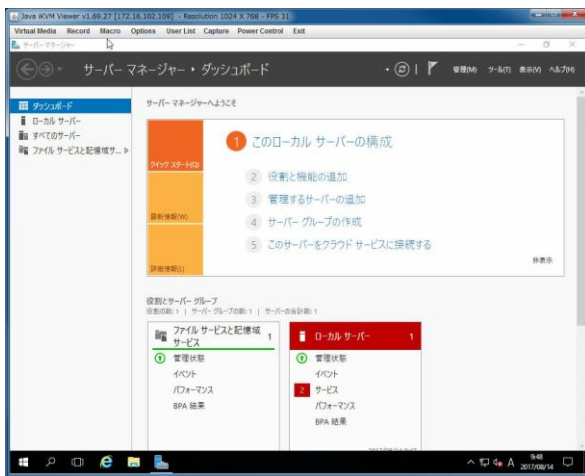


以下の警告が出ますが実行をクリックします。
Java のバージョンにより画面が多少異なります。

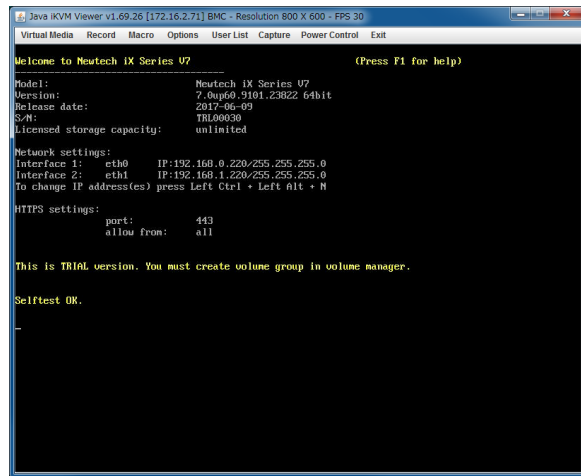


サーバのコンソール画面が以下のようにリモートで表示されます。

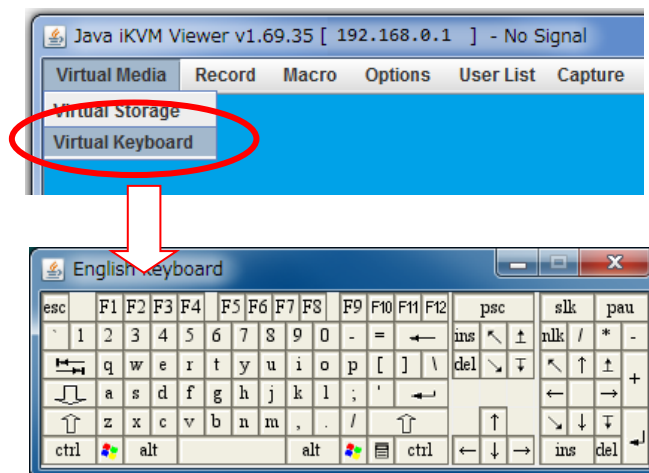
<Windows の場合の表示例>



<iX の場合の表示例>



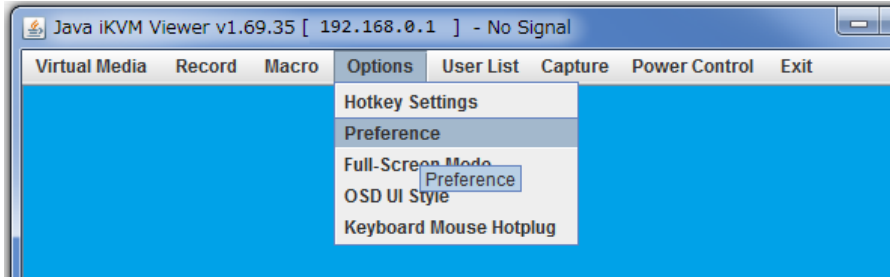
特殊キーはキーボードから打てないので[Virtual Media]タブの「Virtual Keyboard」をクリックし表示されるキーボードを操作します。



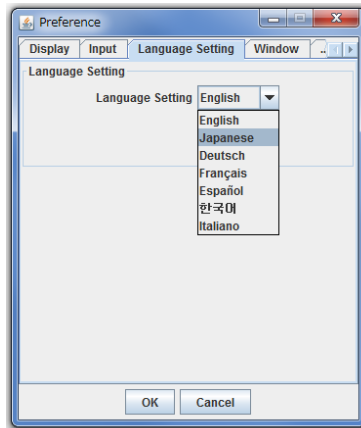
2-4. キーボード設定

1. Console Redirection は、デフォルト設定では入力が一部日本語キーボードと異なります。
以下の通り設定を変更してください。

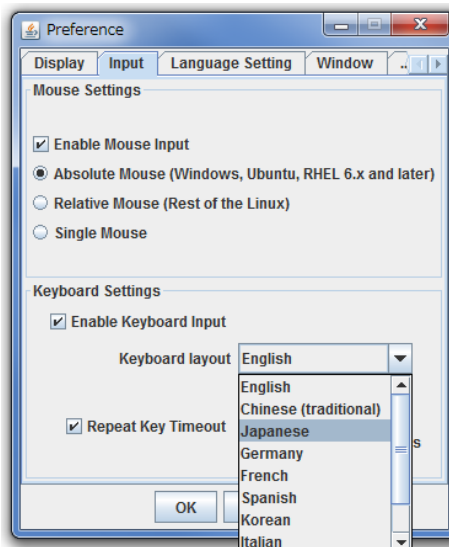
[Options]-[Preference] をクリックします。



2. メニューを日本語に変更します。（必須ではありません）
Japanese を選択して OK クリックでメニューが日本語に変わります。
“お気に入り”（英語では”Preference”）を選択します。

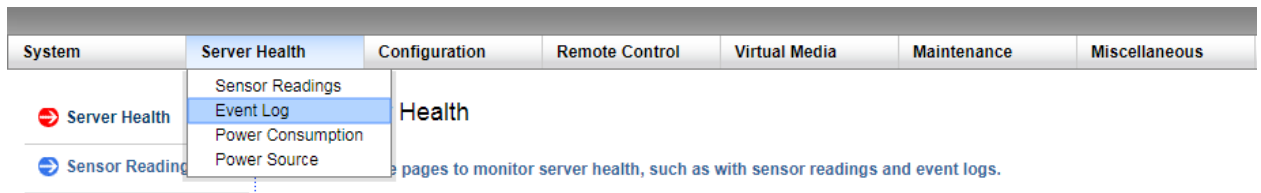


3. 入ータブ（英語では Input）でキーボードレイアウトを **Japanese** に変更します。
PC のキーボード配列通りに文字が入力されるようになります。バーチャルキーボードも日本語配列のものが表示されます。



2-5. Event Log

[ServerHealth]タブの[Event Log]をクリックします。



以下の画面が表示されます。

「Select an eventlog category」のプルダウンリストから選択することで、出力するログの種類を限定することができます。

[Clear Event Log]をクリックすると、保存していたログが削除されます。
ログを取得する際は、この画面をキャプチャーしてください。

➔ Event Log

For more advanced event log settings, please click [here](#)

This page shows the system event log (SEL). You can choose a category from the pull-down box to filter the events, and can also sort them by clicking on a column header.

Clear Event Log Save

Select an event log category:

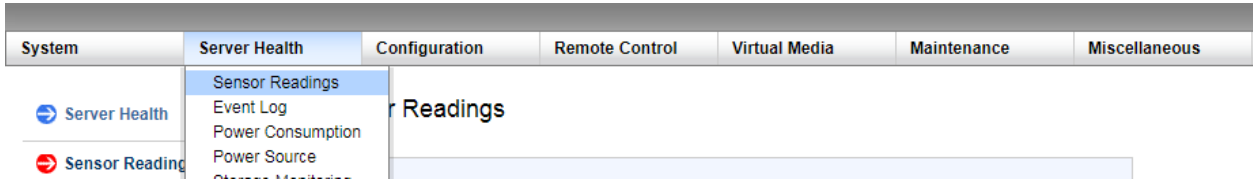
All Events

Event Log:Max= 512,Used= 5(event entries)

EID	Time Stamp	Sensor Name	Sensor Type	Description
1	2018/06/05 05:31:41		OS Boot	C: Boot Completed - Assertion
2	2018/06/05 05:43:08		OS Boot	C: Boot Completed - Assertion
3	2018/06/05 06:16:39		OS Boot	C: Boot Completed - Assertion
4	2018/06/05 06:17:17		OS Stop	OS Graceful Shutdown - Assertion
5	2018/06/05 06:18:49		OS Boot	C: Boot Completed - Assertion

2-6. Sensor Readings

[ServerHealth]タブの[Sensor Readings]をクリックします。



以下の画面が表示されます。

BMC で監視している部位の稼働状態を確認することができます。

The screenshot shows the 'Sensor Readings' page. At the top, there is a blue box with the text: "This page displays system sensor information, including sensor readings and sensor states." Below this, there are buttons for 'Auto Refresh', 'Show Thresholds', 'Save', and 'Intrusion Reset'. A dropdown menu is set to 'All Sensors'. The sensor readings are displayed in a table with columns for Name, Status, and Reading. The table shows various temperature sensors, all with a 'Normal' status.

Name	Status	Reading
CPU1 Temp	Normal	34 degrees C
CPU2 Temp	Normal	34 degrees C
PCH Temp	Normal	30 degrees C
System Temp	Normal	24 degrees C
Peripheral Temp	Normal	38 degrees C
MB_10G Temp	Normal	51 degrees C
Inlet Temp	Normal	23 degrees C
VRMCpu1SA Temp	Normal	34 degrees C
VRMCpu1IO Temp	Normal	27 degrees C
VRMCpu1CCH Temp	Normal	30 degrees C
VRMCpu2SA Temp	Normal	37 degrees C

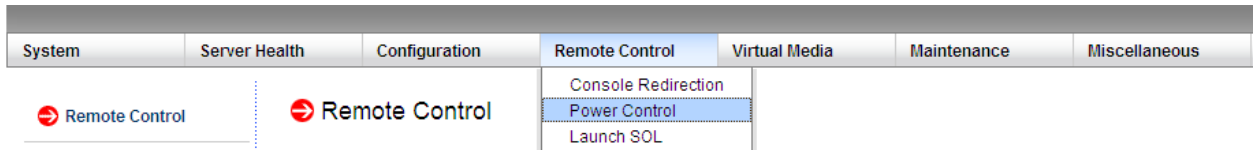
サーバのトップカバーを外した後、以下のエラー(イベント)が表示されている場合は、下部の[Intrusion Reset]を押すことでクリアすることができます。

The screenshot shows the 'Sensor Readings' page with an error. The 'Intrusion Reset' button is circled in red, and a red arrow points to it from the 'Chassis Intru' row in the table below. The table shows various voltage and temperature sensors, with the 'Chassis Intru' row highlighted in red, indicating an error state.

Name	Status	Reading
3.3VSB	Normal	3.299 Volts
1.8V PCH	Normal	1.863 Volts
PVNN P	Normal	1.021 Volts
1.05V PCH	Normal	1.036 Volts
Chassis Intru		General Chassis Intrusion.
PS1 Status		Presence detected.
PS2 Status		Presence detected.
GPU2 Temp	Normal	54 degrees C
AOC_SAS Temp	Normal	50 degrees C
HDD Temp	N/A	Not Present!
HDD Status	N/A	Not Present

2-7. Power Control

[Remote Control] タブの [Power Control] をクリックします。



以下のメニューが表示されるので実行したい操作を選択し「Perform Action」をクリックします。

➔ Power Control and Status

The current server power status is shown below. To perform a power control operation, select one of the options below and press Perform Action.

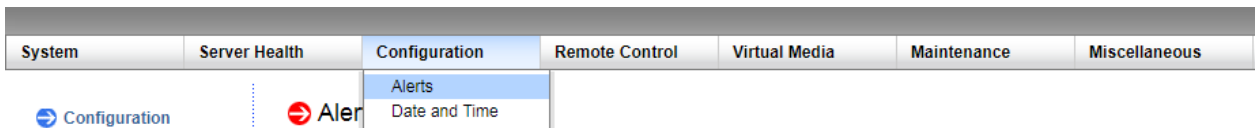
Host is currently on

- Reset Server
- Power Off Server - Immediate
- Power Off Server - Orderly Shutdown
- Power On Server
- Power Cycle Server

Perform Action

2-8. Alerts

[Configuration] タブの [Alerts] をクリックします。



➔ Alerts

This page allows users to configure alerts.

Modify **Send Test Alert** **Delete**

Alert Table: 16 entries

Alert No	Alert Level	Destination Address
1	Disable All	000.000.000.000 & NULL
2	Disable All	000.000.000.000 & NULL
3	Disable All	000.000.000.000 & NULL
4	Disable All	000.000.000.000 & NULL
5	Disable All	000.000.000.000 & NULL
6	Disable All	000.000.000.000 & NULL
7	Disable All	000.000.000.000 & NULL
8	Disable All	000.000.000.000 & NULL
9	Disable All	000.000.000.000 & NULL
10	Disable All	000.000.000.000 & NULL

Alert 番号を選択し「Modify」を押します。

必要な情報を入力し、[save]ボタンで設定を保存します。

➡ Modify Alert

Enter the information for the alert below and press Save.

Event Severity:

Destination IP:

Email Address:

Subject:

Message:

Alert を複数設定する場合は「Event Severity」を全て同じレベルで設定してください。

上記 Alert 情報の送信先を設定します。
[Configuration] タブの [SMTP] をクリックします。

The screenshot shows a configuration menu with several tabs: System, Server Health, Configuration, Remote Control, Virtual Media, Maintenance, and Miscellaneous. The Configuration tab is active, and a sub-menu is open showing various settings. The SMTP option is highlighted in blue. Other options include Alerts, Date and Time, LDAP, Active Directory, RADIUS, Mouse Mode, Network, Dynamic DNS, SSL Certification, Users, Port, IP Access Control, SNMP, Fan Mode, Web Session, and Syslog.

メールサーバの必要な情報を入力し、[save]ボタンで設定を保存します。

➡ SMTP

This page displays SMTP server settings.

SMTP SSL Auth:

SMTP Server:

SMTP Port Number:

SMTP User Name:

SMTP Password:

Sender's Address:

株式会社ニューテック

〒105-0013

東京都港区浜松町 2 丁目 7-19 KDX 浜松町ビル

<http://www.newtech.co.jp>

Copyright© 2020, Newtech Co., Ltd. All rights reserved.